

し、以て完全なる鑄物を容易、迅速、多數に製造せんとするにあり。

特許請求の範圍 本文所載の目的に於て本文に詳記せる如く、濾過装置及び自働開閉瓣を有する鐘の上部に任意の高さに加減し得べき放出管及び壓搾空氣導入管を通したるものを、熔融金屬容器中に納れ鑄造を行ふ装置。

第二八一二四號(大正參年七月三十一日出願  
大正四年七月二十八日特許)

特許權者 米國

ゼネラル、エレクトリック、コムパニー

### 金屬製軸承

發明の性質及び目的の要領 本發明は鑄鐵の如く或る點に於て軸承として適當するも、然かも初め或は永久には多少此目的に不満足なる多孔質金屬の軸承の支承面に、亞鉛の如き他の金屬を親密に續合して此の他種の金屬を上記軸承の金屬に合金し、其細孔を此他種の金屬にて充填したる層を作りて、之を支承面となしたる軸承及び軸承面に關し、其目的とする所は運轉狀況及び磨滅性質良好にして、且つ比較的廉價なる金屬性軸承面を供給せんとするにあり。

特許請求の範圍 一、本文に詳記せる如く軸承の金屬に他の金屬か合金し、軸承の金屬の細孔を斯る他の金屬にて填充したる層を、支承面に有する多孔質金屬の

軸承、二、本文に詳記したる如く多孔質金屬を鐵とせる特許請求範圍第一項の軸承、三、本文に詳記したる如く他の金屬を亞鉛としたる特許請求範圍第一項或は第二項の軸承、四、本文に詳記せる如く、支承面の最外層か亞鉛なる特許請求範圍第一項、第二項或は第三項の軸承。

第二八一三〇號(大正三年九月二十一日出願  
大正四年七月二十九日特許)

特許權者 東京府 吉澤多一郎

### 防錆液

發明の性質及び目的の要領 本發明は礬砂とグリッソンを蒸溜水にて溶解せる防錆液の發明にして、金屬製の機械及び器具の防錆を目的とす。  
特許請求の範圍 本文に記載の目的を以て礬砂、グリッソン及び水を混和したる防錆液。

## 商 况

### 海外商况

#### ○米國金物市况

毎年七月は夏季の小緩みを生ずる例なるに本年の市况は鐵及び鋼通して好況に向へり、比較的低價の約定六月三十

日を以て終りたるを以て鋼鐵の多量の積出し注文取結はれ  
たり。七月には活氣は衰へたるも注文は益々増加し、之等  
の注文はよく分配せられたり、五、六兩月に合計五萬輛の  
注文を引受たる車輛製造者は新に注文を取り始めたり、又  
農具の取引も其製造季に對し注文を取り始めたり、自動車  
の取引は其新時期に對し活躍の準備をなせり、戦時並ひに  
平時用品の輸出注文は一般に増加を來せる中に注意すべき  
は製鋼工場か或種の製品額を減したる事なり。

各種製品の買手は此數ヶ月來其注文か多種なるにもかゝ  
はらず早積み出しを要求する傾きあり、平爐製鋼作業は七  
月中は殆ど其全力を盡し轉爐は約七割乃至七割五分の割合  
にて操業せり、平爐鋼は急に品薄となり、七月の終りに於  
ける鋼鐵生産率は五月の七割昨年十二月の三割半に對して  
八割半乃至九割に上れり。

先月の市況に於て鋼鐵の好況と骸炭、屑鐵及び銑鐵の不  
況との著しき比較を注意したりしか此異常の状態は今や消  
滅し何れも活氣を呈し其價格騰貴の傾向を來せり、コンネ  
ルスピルの高爐用骸炭は一・七五弗なりしも本年後半季に  
は二弗に騰貴せり、屑鐵は凡ての市況中最も活氣を呈せり。  
銑鐵 七月に於ける銑鐵の賣出高は大ならざるも五月六  
月に比すれば可なり多量なりき、市況は一般に手硬く或種  
のものは騰貴せり、クリーブランド銑は西バーデニア迄賣  
れ行けり、最も投機的の取引はクリーブランド製鐵會社か

ヤングスタウンの薄板及び鋼管會社に十三弗以下にて四萬  
噸を賣りたる事なり、レパブリック製鋼會社はバレー工場渡  
し十四弗にて一萬六千噸のベセマー銑を購入せり、次に銑  
鐵相場を擧ぐれば。

二號鑄物銑	フィラデルフィヤ渡し	一四・二五—一四・五〇弗
同	バッファロー熔鑛爐渡し	一二・五〇—一三・〇〇弗
同	クリーブランド渡し	一三・五〇弗
同	チカゴ熔鑛爐渡し	一三・〇〇—一三・五〇弗
同	バーミンガム渡し	九・七七—一〇・〇〇弗
ピッツバーグ地方相場、バレー熔鑛爐渡し		
ベセマー銑		一四・〇〇—一四・二五弗
バーシック銑		一三・〇〇弗
二號鑄物銑		一二・七五—一三・〇〇弗
マレアブル銑		一二・七五—一三・〇〇弗
グレイフォージ銑		一二・五〇—一二・七五弗
鋼鐵	鋼片及び薄板用鋼鐸は七月に於ては甚しく騰貴せり、米國鐵鋼組合は合計約十五萬噸の鋼片及び薄板用鋼鐸をオハイオ及びペンシルベニアの西部並ひにケンタッキに於ける製鋼工場より比較的廉價なるものを買ひ占めたり	
	平爐鋼のみは稍々品薄となれり、市場は高氣配にして實際の取引價格は次にかゝる呼値以上なるへし。	
ベセマー鋼片		一一・〇〇弗
ベセマー薄板用鋼桿		一一・五〇弗

平爐鋼片

一一二・〇〇弗

平爐薄板用鋼桿(ヤングスタウン製鋼所渡し)

一一二・五〇弗

ピッツバーグ製鋼所より製品の出でたるものなくピッツ  
バーグ渡しの市價は一噸につきヤングスタウンに於けるよ  
り一弗高價なり、ピッツバーグに於て鋼桿は二十六弗にして  
品薄なり。

成形鋼材 大なる製鋼工場にては鋼桿、鋼板及び形鋼の

延積出は一・二〇仙を稱へつゝあり第三期約定は一・二五仙  
なり。六月の終りには一・二〇仙へ引返へせり、ポイラー用  
鋼管は七月十六日一ポイント(一噸につき約二弗)騰貴せり  
主もなる製線工場は六月三十日釘の價格を一・六〇弗に協  
定せるも賣買は一・五五弗にて繼續せられたり、又同時にペ  
ンキ塗及び亞鉛引鋼線は一噸に二弗騰貴せり、而して此騰  
貴は輸出向需要の大なる爲め充分に保たる、目下の呼値を  
舉ぐれば左の如し(但し特に記載なきはピッツバーグ渡し  
とす)

軌條、標準断面のもの工場渡し、ベセマー軌條一・二五仙

平爐軌條一・三二仙(但しコロラドを除く)

鋼板、タンク用標準のもの

一一二・五〇弗

形鋼

一一二・五〇弗

鋼桿及び帯

一一三・〇〇弗

箍

一一三・〇〇弗

鐵桿、ピッツバーグ渡し

一一二〇—一一二五

同 フィラデルフィヤ渡し

一一三〇

同 チカゴ渡し

一一二〇

薄板(ブリュー、アンニールド)ゲージ一〇番 一一三五

同 (ブラック)ゲージ二八番 一一七五—一一八〇

亞鉛引薄板ゲージ二八番 四・五〇

ペンキ塗波板ゲージ二八番 一・九〇—一九五

亞鉛引波板ゲージ二八番 四・五五

鐵力板(一百封度に就き) 三・一〇—三・二〇

鋼管<sub>3/4</sub>吋—三吋(ブラック)定價表の 七九%

同 亞鉛引定價表の 五七・五〇%

ポイラー鋼管三・五吋—四・五吋定價表の 七二%

建築用リベット 一・五〇

ポイラー用リベット 一・六〇

鐵道用スパイク 一・四〇—一・四五

鐵以外の金物 七月に於ては何等注目すべき變化を見ず

價格の上下は甚た少なく亞鉛及び鉛は以前の高値より下落

せり、錫は稍々下落せるも銅は確實に持合へり。

銅 市況は活氣を呈し製造者は其價格を保つを得たり、日

々の小高下はありしも永續せず、眞鍮製造者の需要は良好

にして眞鍮の製産額は以前よりも増加せりと傳へらる、ニ

ューヨーク電氣銅の呼値は一九・四五—一九・六五仙なり。

錫 是供給多量にして其價格小緩みなり、需要者は已に

買込品を有し需要減せり、七月のニューヨーク相場は約三八仙の呼値なり。

**鉛** 六月に於る七仙の高價は長く續かず主もなる製造者は漸時價格を低下し遂に七月初旬には五・七五仙に下れり、其後此價格はよく保たれニューヨークに於ては五・六〇—五・七五仙セントルイスに於ては五・五〇—五・六〇仙なり。

**亜鉛** の需要は新規工場の建設を奨勵し、古き工場に活氣を與へたり、内外共に可なりの取引あり其高價は呼値のみにして内地相場は尙ほ亂高下を示せり。

**他の金屬** アルミニウムは好況にして價格騰貴せり、ニューヨークに於ける相場は三二—三三仙なり、アンチモニーは品薄にして高價なり、特別品は呼ひ値のみ高し、取引價格は各種三七・五—五二・五仙の間にあり、水銀は需要多く強硬なり大口の相場はニューヨークにて七五封入九四弗サンフランシスコにては九〇—九五弗、小口は一〇〇弗に達せり。

### ○英國金物市況

**銑鐵** 市況は引續き硬調にして英國北部の産額減少か他の地方にも波及する時は一層騰貴を來すへきは疑ひを入れず。ミッドルスポローよりの通信によれば露國はクリープランド銑を多量購入せり、之は諾威を通りて陸路輸送せらる。而して伊太利との取引は漸次發展せり、ヘマタイトは甚だ不況にして相場甚だ弱し然れ共近々注文市場に現はる

へしと期待せらる、銑鐵製造者は一般に其製産費を減する爲めに近き將來に於ける幾分石炭の下落を期待せるも、現在にては高爐用骸炭は三十志に止りて動かす。

**滿俺銑** の相場は後半期に於ける供給か前半期に於けるよりも多量ならざる限り一層強硬となる傾向あり。近來英國への滿俺鑛輸入は甚だ減少せるもブラジルより米國への輸入は増加せるか如し、即前三ヶ月に於ては一千噸以下なりしに五月には一萬六千噸に達せり。

**半成鋼** 英國製造者は新規取引には比較的無頓着にして價格甚だ高し、現今に於ても需要者は出荷確實ならば更に高價にて購買すへし。

**亞鉛引薄板** 現今の已に買手の慣れたる高價にて稍々多量の需要あり、ゲージ二四番の呼値は其品種と品質とにより種々なるも尙ほ二二磅—一〇志—二五磅の間にあり、先月の輸出は平時の約半數なりき、製造者は其價格を下くへしとは見えざるも買手も現在の割合にては取引を切望せず、米國への大なる輸出注文あり、佛國より十四萬噸の注文傳へらる。

**軌條** 新規取引行はるゝも價格は騰貴の傾向強く現今大形のものに對しては九磅五志迄の呼値あり、一二週間の中には取きめらるへき二三の注文市場にあり、又大口注文近く米國になされたり、其大半は米國鋼鐵組合の手に落ちたるも二三の小契約は獨立の製鋼所にて引受けられたり。

他の製鋼 鋼鐵市場に於て注意すべきは鋼鋸及びガスト  
 リップにして前者の賣價は一一磅一〇志、後者は一一磅七  
 志六片—一一磅一二志六片なり、鋼鐵に關する普通注文は  
 軍事注文に比すれば甚だ僅少なり、製造者は全力にて仕事  
 せり。

各種金物の代價左表の如し。

材 料 種 別	一九一五年 七月十五日	一九一五年 七月八日	一九一四年 七月十六日
鐵鑛			
ルビオ(ミッドルスポロー)	二五、〇六 <sup>片</sup>	二五、〇六 <sup>片</sup>	一七、〇〇 <sup>片</sup>
銑鐵			
三號鑄物銑(ミドルスポロー)	六七、〇六 <sup>片</sup>	六七、〇九 <sup>片</sup>	五一、〇六 <sup>片</sup>
現金渡し	六七、〇二	六七、〇六 <sup>片</sup>	五一、〇四 <sup>片</sup>
スコッチ現金渡し(グラス)	七三、〇〇	七三、〇九	五七、〇四 <sup>片</sup>
ヘマタイト現金渡し(西海岸)	九五、〇〇	九五、〇〇	六一、〇〇
冷風鑄(サウス、スタツフ)	一五五、〇〇	一五五、〇〇	一二五、〇〇
物銑(オードシヤイヤ)			
製品			
マーク(サウス、スタツフ)	一二、〇〇 <sup>片</sup>	一二、〇〇 <sup>片</sup>	八、一〇 <sup>片</sup>
ドバー(オードシヤイヤ)	一一、一二、〇六	一一、一二、〇六	六、一〇、〇〇
普通鋼鋸	九、〇二、〇六	九、〇二、〇六	五、一七、〇六
鋼軌條			
亞鉛引鐵板	九、一五、〇〇	九、一五、〇〇	五、一七、〇六
造船用山形(ミッドル)	九、一五、〇〇	九、一五、〇〇	五、一五、〇〇
山形鋼(グラスゴ)	九、〇〇、〇〇	九、〇〇、〇〇	六、〇〇、〇〇
鋼板(造船用ミッド)	九、一五、〇〇	九、一五、〇〇	五、一七、〇六
同(造船用グラスゴ)	九、〇〇、〇〇	九、〇〇、〇〇	六、一二、〇六
同(ボイラー用グラスゴ)	〇、一九、〇〇	〇、一九、〇三	〇、一二、〇三
鐵力板(ベセマー鋼サウ)			
鐵以外諸金物七月中旬の代價左の如し。			

銅現物	八〇二
錫(イングリツシユ)	七六、一〇〇〇 <sup>片</sup>
亞鉛(イングリツシユ)	一七二、〇〇、〇〇
鉛(イングリツシユ)	一一〇、〇〇、〇〇
水銀	二六、〇〇、〇〇
アンチモニー(イングリツシユ)	一八、〇〇—一八、一〇、
	一二五、〇〇、

○獨逸金物市況

鐵及び鋼市況 此期間の初めより銑鐵シンジケートは多  
 量の銑鐵を市場及び特に兵器を製造せる鑄物工場等に賣拂  
 へり、ウエストフアリアに於ては最近の産額増加の爲め一  
 號鑄物銑は九四志、三號銑は八九志、ヘマタイト銑は一一  
 五志、鏡銑は九八志六片を唱へ、オバーハウゼン及びジ  
 ゲンにては平爐用銑鐵は八八志六片—一〇二志なり、他  
 の地方に於ける呼値は數志の開きあり、特種品は殆んど内  
 地市場のみにて消費せられ、普通品に對しては中立國はよ  
 き顧客なり、シンジケートの特別品販賣額は七月の割當額  
 の五七・五%に達せり、屑鐵は市場在荷の多量なる爲め弱  
 氣なり、半成鋼の内地市場に於ける活氣は従前の如くにし  
 て、輸出は伊太利との取引無くなれる爲め減少せり。

鹽基鋼管の此期間に於ける取引は一四〇志より一四五志  
 にして餘り活潑ならず、之れ一つは少し前に大なる取引行  
 はれ三ヶ月間の材料を製鋼工場に供給せるによる、鋼鋸の  
 價格はウエストフアリア工場組合は一噸につき五志—一五  
 志引上げたり、故に市場鋼鋸は一六七志に馬蹄鐵用鋼鋸は

一八二志リット用鋼鋸は一九五志となれり、多量の鐵材軍用に供せらるゝを以て各種の需要可なり多し、鋼板及び薄板は引續き活潑にして、普通鋼板は現今一五五志なるも薄板は一九〇志なり。

鋼管の新規取引行はれ其協定價格は八月の終りまで延期せり、六月に於ける積出し額は五月の二八八、五六六噸に比し三〇八、〇〇〇噸なり、鋼線工場組合は七月五日今期の價格を一噸に就き一〇志—二〇志引上ぐるに決せり、又鑄物工場組合は鑄物の價格を一噸に二〇志—四〇志増加せり、又螺旋工場組合は一噸に就き一〇志引上げ亞鉛引鐵板組合は一噸に二〇—三〇%引上げたり。

銑鐵及び鋼鐵產額 鐵鋼製造組合の報告によれば五月に於ける銑鐵製出高は四月の九三八、六七九噸に比較し九八五、九六八噸なり。而して此二ヶ月間毎日の平均額は三二、八〇五—三一、二八九噸なり。

本年一月以降銑鐵產額並ひに前年との比較次の如し。

	一九一三年	一九一四年	一九一五年
一月	一、六一一、三四五	一、五六六、五〇五	八七四、一三三
二月	一、四九三、八七七	一、四四五、五一一	八〇三、六二三
三月	一、六二九、四六三	一、六〇二、八九六	九三八、四三八
四月	一、五八八、七〇一	一、五三四、四二九	九三八、六七九
五月	一、六四三、〇六九	一、六〇七、一九三	九八五、九六八

此組合の鋼鐵產額に關する報告によれば四月の一、〇一二、三三四噸に對し五月は一、〇二〇、五一五噸なりき。

二月以降の鋼鐵製造高を擧ぐれば左の如し。

	二月	三月	四月	五月
鹽基性轉爐鋼	四七九、八六〇	五五三、一五六	五二四、二〇五	五二八、五八七
酸性轉爐鋼	九、六八一	一四、八〇八	一三、九三四	一二、六四一
鹽基性平爐鋼	三八九、九四一	四五一、七九六	三九八、八二三	四〇〇、二四〇
酸性平爐鋼	一五、三九八	一五、九七五	一六、七一四	一七、七九七
鹽基性鑄鋼	二六、七四二	三四、五〇七	三五、三八八	三六、〇八八
酸性鑄鋼	八、〇五三	一〇、八六六	八、五九五	九、七六二
坩 鋼	七、四六二	八、二一四	七、七九三	八、二三二
電 鋼	八、九〇二	九、〇八九	六、八八二	七、一六八

### 内國商況

鐵 當八月は尙ほ閑散期節のこととて渉々しき取引を見ざるも何様囊に米國より輸入せる安値物は相當出捌けて概ね消化し盡したる揚句とて今後は嫌ても高値物の輸入に仰かざる可からざる羽目となり薄商ひなから米本國の高値保合と相待ち越月當時より所々に弗々買氣を呼ひて上進の氣運漸く熟し來りたり中にも建築材料を筆頭に丸鐵等は一段と活氣を呈したる有様にして嘗ては一般に等閑視されたる平鐵二分板の如きも中々に侮り難く中旬頃には一時の高値をも突破して五圓臺を抜きたり蓋し建築材料たる鐵類は從來主として獨逸及び英國より輸入せられ亦我か製鐵所の製品もドルマンロング等専ら英國式に則れるものなるか今や獨逸品の輸入杜絶と英國品の輸入障害とに遭遇しては他の鐵類の如く矢張り米國より之か供給を仰かんと欲するも如何せん型式に於て根本的に相違せるか故に之か供給を受くる能はず止むなく在來の輸入在荷と内地製品とを以て僅に

需要に應しつゝあるもアングル物さてはチャンネル物等物に依りては品拂底を告げ、加之今後建築界か多少とも活氣付くに至らば鐵骨類の暴騰は右の現狀に徴して之を豫測するに難からず、從て相場か漸騰の步調を辿り來れるは當然なり尤も丸釘は他の鐵類同様に獨逸品の輸入は杜絶し米國品は昂騰し且つ支那、印度、南洋、滿洲、露國より新に注文頻々として到來し概算一萬五六千樽方も輸出し而も内地の製造家は平和克復後に於ける市場の成行に懸念して生産力の増加を見合せ居れるに拘らず伸力遅々たるは寧ろ除外例と見るべく如何にも不可思議なる現象なるか是れ畢竟内地の生産年額は既に四十萬樽内外に達して過去數年間に於ける内地平均需要年額に相當し來れるに輸入品は今尙ほ各地の市場に散在し、剩へ財界不振の爲め各地の需要は近年になき閑散を告げ以て供給過多の姿となりたるにあり、時に從來米國に於ける鐵材相場は鐵生産家を悉く網羅せる組合の公定發表する所にして常に一定せるに此程新設せる太平洋沿岸鋼鐵會社は此組合には加入せず却て挑戰的に組合の公定相場以下の安値を發表して鐵相場の統一を打破し從て本邦輸入取引に付ても近時前者は百九十三片、後者は百六十八片など區々の相場を入電せる程なりしに二十日に至り兩者共に百七十二片てふ同一相場を同時に入電し來れるは想ふに強ち偶然の結果にも非ざるへし、未だ其真相を知る能はざるも或は遂に妥協せるには非らずやと首肯すへき節あ

り爾來米國相場は引續き強硬の態度を持續し爲に一度殆と米國相場に鞘寄せたる内地相場も運賃其他の費用を加算して尙且つ相當上進の餘地を存し加ふるに需要期節も追々接近せし爲め地方筋よりも弗々小口注文入込み之に先高見越の思惑買さへも漸く加はりて月末の市場は一入活氣を添へ行先尙ほ一段の高見込にて越月せり。

因に當月末の相場を前月末に比較するに丸釘は概して保合ひたるか一寸二分か三十錢、一寸四分か五十錢、五寸か五錢方騰貴し二寸八分は五十錢方低落せり、家釘は全部保合ひ鐵板三六は三十錢乃至六十錢方、同シーメンズは三十錢乃至六十五錢方、同四八は二十錢乃至一圓方の騰貴を示したり、丸鐵は二十錢乃至八十錢方、角鐵は十錢乃至九十錢方も昂騰し更に平鐵一分は三十錢乃至七十錢方、同二分は五十錢乃至一圓三十錢方、同三分は五十錢乃至一圓十錢方、同四分は七十五錢乃至八十錢方、同五分は五十錢方の騰貴なり、鈦丹引平板は十錢方の騰貴を示したるも同生子板は三四十錢方の下落を告げ同線に至りては八號より十二號迄は十錢乃至五十錢方も騰貴し十三號は保合ひたるも十四號以下は二十錢乃至二圓方の崩落を呈したり。

銑鐵は本國相場不變の爲め市價は辛くも居据りたれと需要は時恰も年中最も不振なる期節に入れる事とて纏りたる取引なく市場閑散を極めたり之か爲め當時輸入せらるゝものは平均六十七八片乃至七十二三片の仕入値段なるに實際

の取引価格は六十四片見當なりといふ戦争突發前後に於て約定したる五十三片見當の輸入品を手仕舞せる一部の當業者を除いては皆悉く少からざる損失を招けるものゝ如し。

銅 前月末に比し一磅五志高の七十三磅十五志に産れたる倫敦銅先物の本場は四日には更に十二志六片高の七十四磅七志六片となれるも六日には二磅十志安の七十三磅二志六片に崩落し十一日には遂に七十磅臺を割て六十九磅七志六片となり十六日に於ける十五志方の小締を例外として終始一貫低落の歩調を接續し二十三日の六十五磅十志を底値に二十四日に一磅高の六十六磅十六志を動機と引戻し二十七日には六十磅臺の天井を破りて一舉七十二磅となり翌二十八日には七十磅十五志とまで漕付けたるか又々月末には二磅十七志六片安の六十九磅十七志六片と引緩みたり、蓋し高低の原因に就ては未だ的確なる情報に接せざるも戦亂突發後銅價激騰の結果として米國其他に於ける銅産出額も激増して供給力著しく増大せるに當り軍需品以外の需要は市價昂騰の反應として手控への姿となれるに加へ露軍の敗報と講和運動開始の消息とは軍需品購入に關する思惑を軟弱ならしめ以て月内に實に七磅十七志六片方の崩落を告げたるなり、然るに其後聯合軍の團結は益々鞏固の度を加へ露軍も味方の軍用品援助に信頼し飽くまで奮闘して最後の勝利を占めんものと斷乎たる覺悟を有せること愈々明白となりたるからには戦期は相當に長引くへく且つ軍用品の

纏りたる購入も豫測さるゝ、矢先に英國政府が銅を多大に購入せる爲め氣早な手筋は一齊に買進みて數日間に六磅五志方も引戻したるか上れば下る世の習ひ後二磅十七志六片方に反動安を告ぐるに至れるものゝ如し。

月初に於ける内地市場は倫敦相場の引戻に人氣を見直し下けんとせし相場を急に支へ得たるのみか商内は大體に於て不活潑ながら爾來益々好氣配を呈し殊に電氣銅は製造家の手許に賣物薄を告げ居れるに反し需要家側の持荷減少して弗々買進み來り分けて手堅き商狀を呈せる折柄露國より八百噸の買商談ありしも年内物は既に大部分か先約濟みとなれる際とて之に應し得へき向は少く無理に高値を吹掛けて殆ど注文を謝絶するの有様となり地銅は頼みに五十錢乃至一圓方も引締り約二百噸方の現物手合行はれたるか鑛山家側は先高を見越して急に賣溢りたる爲め商談は行惱みの姿となり古銅類は在荷拂底の爲め一千片と纏りたる賣物さへもなく氣配は何れも彌か上に昂進せり、然るに倫敦の崩落相場か先つ七日に着電して人氣は頼みに銷沈し買人は一齊に手控へて取引は更に行はれず相場は總て一圓、五十錢と逐日崩落に崩落を重ね流石に電氣銅は品薄と露國の注文とに押されて無碍に下げ兼ねたるも地銅に至りては最高より八圓落ちの三十八圓五十錢の中値となり更に二十四日には三十六圓賣りをさへ呼ぶに至れるも容易に買人は出てさりしか二十五日の倫敦相場か一氣に三磅高の六十九磅十志



と傳へて二十六日には忽ち三十八圓に引戻し翌二十七日には更に一圓五十錢引締りたるものは月末には再び倫敦の激落を報して氣迷ひの風情とはなれり。

錫 市況極めて沈靜の姿にて殆んど商談なく且つ在荷は豫想外に潤澤にして此所暫く掛念し氣味なるに本國より安値を報し來り爲に中旬に印度角一圓五十錢方、中興九一號一圓方、中興角二號二圓方、同三號一圓方、美濃二圓方崩落し下旬には人氣更に沮喪して引續き實に印度角四圓方、中興九一號五圓方、中興角二號四圓方、同三號四圓方、美濃十圓方、和茶一圓方の激落を報したり。

鉛 倫敦相場の崩落を傳へて去らてたに前月以來頭重さ鉛の相場は著しく人氣腐らしたるも在荷薄なるに加へ相場の居所か最初より低かりしたため中旬に濠洲物か三十錢方の低落を告げたるの外は一般に現狀を維持し得たり。

亞鉛 前月末には利喰物に押されて二圓方も崩落せるに當月に入りては倫敦相場か日に低落を重ね來る爲め一般に氣勢は挫け中にも上亞鉛十圓方、中亞鉛六圓三十錢方、並亞鉛十二圓方の崩落を示したり併し月末に逼りては倫敦相場か持返したる爲め氣配は多少引締りたるの氣味あり。

安質母尼 前月末に於ける二圓安を受けてより引續く利喰物に氣配は更に軟弱となり且つ輸出商談の途切れたる爲め不安場裡に彷徨して月内に山一印六圓方、S I印六圓方ヤマト四五十錢方の崩落を告げたるか月末には露國に對する我が武器供給説か喧傳せられたる爲め氣配は一般に良好となれり。

○相場表 (八月調)

銑鐵

東京 村上商店

一噸に付 百十圓

釜石骸炭銑

一號銑 五二

同

二號銑 四七

同

三號銑 三七

釜石木炭銑

一號銑 六八

同

二號銑 六三

同

三號銑 五八

釜石白銑

六五

同半白銑

五五

同再製銑

八五

レツドカー銑

五二

クリブランド銑

五一

ブレナボン銑

一五〇

ガアトセリー銑

七〇

ヘマタイト銑

七五

タタ銑

四二

ベンガル銑

三八

仙人 一號銑

五五

同 二號銑

五二

同 三號銑

四五

雲州白銑

六二

栗木澤(チルド用)銑

五六

輪西銑

三八

再製銑

三〇

道具銑

三八

釜石コークス

二八

古河最上コークス

二八

同上等コークス  
同並コークス

二四  
一七

丸鐵

東京 森岡商店

十貫目 圓拾錢

新瑞西

五八〇

一分五厘

五八〇

二分

五八〇

二分半

五八〇

三分

五三〇

四分

四七五

五分

四八五

六分

四七五

七分

四五〇

八分

四五〇

九分

四五〇

一寸

四五五

一寸二

四五五

一寸四

四五五

一寸六

四五五

一寸八

四五五

二寸

四五五

二寸四

四七〇

二寸八

四七〇

角鐵 (同)

十貫目

新瑞西

圓拾錢

一分五厘

六〇〇

二分

五八〇

二分五厘

五八〇

二八	二四	二寸	寸六	寸四	寸二	一寸	七分	六分	五分	四分	三分	新瑞西	平鐵 (同)	二八	二四	二寸	寸八	寸六	寸四	寸二	一寸	九分	八分	七分	六分	五分	四分	三分
二分厚												一分厚	十貫目															
四七〇	四七〇	四一〇	四一〇	五三〇	五三〇	五三〇	五三〇	五三〇	五七〇	五七〇	五八〇	圓拾錢		四七〇	四七〇	四七〇	四七〇	四七〇	四二〇	四六〇	四六〇	四五〇	四七〇	四五〇	四五〇	四七〇	四七〇	五一〇

寸四	寸二	一寸	八分	七分	六分	四分	二寸	二寸	寸六	寸四	寸二	一寸	八分	七分	六分	五分	四分	二八	二四	二寸	寸六	寸四	寸二	一寸	八分	七分	六分	五分	四分	三分
					四分厚													三分厚												
四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	四八〇	四七〇	四七〇	四七〇	四八〇	五一〇	五一〇	五〇〇	四八〇	四三〇	四三〇	四五〇	五一〇	四三〇	四七〇	四七〇	五〇〇	五〇〇	五六〇	五三〇	五三〇	五五〇
十二入	十一入	十入	九入	八入	七入	六入	五入	四入	三入	一分	八厘	五厘	鐵板 (三六物)(同)	三二	二八	二四	二寸	寸六	寸四	寸二	一寸	八分	七分	六分	五分厚	二八	二四	二寸	寸六	寸四
一枚代												十貫目																		
六一〇	六八〇	五五〇	五四〇	五四〇	五四〇	五四〇	五三〇	五〇〇	五二〇	四七〇	五〇〇	五二〇	圓拾錢	四三〇	四三〇	四五〇	四七〇	四二〇	四二〇	四三〇	四三〇	四二〇	四二〇	四二〇	四三〇	四三〇	四五〇	四七〇	四五〇	四五〇

八〇七	九番	八番	七番	六番	五番	亞鉛引線	三二	二八	家根釘	五寸	四寸	三六	三二	二八	二四	11 二寸	12 二寸	12 寸六	13 寸六	寸四	寸二	一寸	八分	七分	六分	十六貫目	丸釘 (同)	十三入
						東京野崎商店																			壹樽	拾圓拾錢		五八〇
七二〇	七〇〇	七五〇	七五〇	七五〇	七五〇	圓拾錢	一〇八〇	一〇八〇	九九〇	一〇三〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇三〇	一〇八〇	一〇五〇	一〇八〇	一〇五〇	一〇七〇	一〇七〇	一一〇〇	一一〇〇	一一四〇	一一八〇	一二五〇	一二五〇	拾圓拾錢		

鐵と鋼

第七號

十番	七三〇
十一番	七二〇
十二番	七五〇
十三番	七二〇
十四番	八五〇
十五番	九〇〇
十六番	一一〇〇
十七番	一一五〇
十八番	一二〇〇
十九番	一二五〇
二十番	一三〇〇
二十一番	一三五〇
二十二番	一六〇〇
二十三番	一六〇〇

鐵線 (同)

十貫目

一番	六三〇
二番	六三〇
三番	六三〇
四番	六三〇
五番	六三〇
六番	六三〇
七番	六三〇
八番	六五〇
九番	六五〇
十番	六五〇
十一番	六六〇
十二番	七〇〇
十三番	七〇〇
十四番	七〇〇
十五番	七五〇

電信電話用亞鉛鍍鐵線

東京青木商店

油引 十貫目ニ付 圓十錢

十六番	九五〇
十七番	九五〇
十八番	九五〇
十九番	一一〇〇
二十番	一二〇〇
廿一番	一二〇〇
廿二番	一三〇〇
廿三番	一三〇〇
廿四番	一三〇〇
廿五番	一三〇〇

鐵條鋼トグ付針金

一丸ニ付 一四〇〇

鋼線

スプリング用

東京青木商店

十貫目 拾圓拾錢

〇番	一五〇〇
一番	一五〇〇
二番	一五〇〇
三番	一五〇〇

和玉鋼

安來松浦彌商店

十貫目 拾圓拾錢

世界一印

□天印	一六八〇
□久印	一六八〇
□撰印	一六八〇
□天印	一五〇〇
□刃印	七〇〇

以下六圓ヨリ三圓迄

八〇八

和鐵 大阪近藤喜兵衛

十貫目ニ付 圓拾錢

甲不吉	六八〇
天吉	六四五
改吉	六五〇
山吉	五八八
別製采	五二八
同大上	六五〇
同大上	六七五
同大上	五八八
黑一玄翁地	四〇〇
再改	六三〇

皇國一 (千草共) 出羽共

皇國一	二一五〇
真稀	一六七〇
稀極	一四九〇
極天	一二八〇
天飛	一〇九〇
天吉	八六〇
天上	六六〇
改天	四五〇
改上	三一〇
改	二四〇
稀中	一五五〇
撰中	一二五〇
極中	八〇〇
中	五四〇
改中	三五〇

洋鋼 東京 河合 商店

三割高	拾圓拾錢
十貫目	
▲パイ卜用	
東郷黃紙貳號丸角	二五〇〇
同平	二五〇〇
東郷白紙〇號丸角	七〇〇〇
黑紙金東郷パイ	
ビード丸角	二〇〇〇
▲道具用	
秤 印丸角	六五〇
青紙蝙蝠丸角	九三〇
白紙蟲丸角八角	一三〇〇
秤印平鋼	六五〇
東郷金床用	一三〇〇
▲鑛山用	
梅黃紙	五五〇
旗青紙	七五〇
白紙蝙蝠中空鋼	三〇〇〇
兜青紙	八〇〇
▲鋸用	
兜赤紙平壹分厚	八八〇
檀平六尺物	一一〇〇
鷄白紙平一分厚	八五〇
東郷黃紙平一分	一八〇〇
同青紙前挽用	八五〇
東郷白紙前挽用	一八〇〇
▲撥條用	
秘印平鋼	六五〇
電車印赤紙平	八五〇

商 况

瓦斯管 東京 梅岡己之助

舶來一尺	拾錢厘
二 分	五〇
三 分	六五
四 分	八〇
五 分	一五〇
六 分	一一〇
一 吋	一六〇
吋四分一	一八〇
一吋二分一	二二五
二 吋	二九〇
二吋二分一	四五〇
三 吋	五三〇
三吋二分一	六五〇
四 吋	七八〇
五 吋	九〇〇
六 吋	一二〇〇

櫻印鋼 出雲 安來鐵鋼會社

一貫目	圓拾錢
優等高速度鋼	一五〇〇
高速度鋼	一〇〇〇
極硬度鋼	五〇〇
工具用鋼(燒番一號ヨリ)	二五〇
別製ヤスリ用鋼(六號迄各種)	二五〇
別製刃物用鋼(松鍛)	三五〇
同 (竹鍛)	二五〇
刃物用鋼	一七〇
右ハ寺度五分角以上二吋迄(或ハ丸)	

引拔鋼管 日本鋼管株式會社

瓦斯管 (繼目ナシ引拔)	拾錢厘
公稱內徑 壹呎ニ付	一七〇
壹吋四分ノ一	一八〇
壹吋貳分ノ一	二二五
壹吋四分ノ三	二八〇
貳吋	二八五
貳吋四分ノ一	三六〇
貳吋貳分ノ一	三七〇
貳吋四分ノ三	四〇〇
參吋二分ノ一	四五五
參吋	五七〇
四吋二分ノ一	六四〇
四吋	七四〇
五 吋	八二〇
六 吋	一、〇五〇
フラン管 (繼目ナシ引拔)	
外徑 壹呎ニ付	拾錢厘
壹吋半	二〇〇
壹吋六分	二三〇
貳吋	二四〇
貳吋半	二五五
貳吋六分	二八〇
參吋	三二〇
參吋二分	三三〇
參吋半	四〇〇
四 吋	四三〇
五 吋	五五〇
六 吋	八八〇
ステール管 壹呎ニ付	一、一五〇
外徑 貳分厚	拾錢厘
貳吋半	五八〇
貳吋六分	六五〇
貳吋	七五〇

錫 同上

參吋 貳分	七八〇
參吋 貳分	八〇〇
參吋 貳分	九〇〇
參吋 貳分	九五〇
參吋 半	一、〇〇〇
四 吋	一、二〇〇
右ノ外各種特製管賣價ハ其時ノ協議ニ依ル	

亞鉛 東京 竹内 商店

百斤ニ付	拾圓拾錢
BHP 亞鉛	六〇〇〇
ホウヘンロ	六四〇〇
M MG 一號	四八〇〇
同 二號	四四〇〇

鉛 同上

百斤ニ付	拾圓拾錢
濠洲生子鉛	一四四〇
舶來同棹鉛	一四五〇
M MK	一四〇〇
上等棹鉛	一四〇〇
KE 生子鉛	一四〇〇

銅 大阪 佐渡島商店

百斤ニ付	拾圓拾錢
九九五型銅	四六〇〇
九九並丁銅	四六〇〇
九八並丁銅	五三〇〇
延地丁銅	五五〇〇
長棹銅	五六〇〇

八〇九